

令和3年度 第2回鱈ヶ沢町総合教育会議議事録

開催日時

令和4年2月16日（水） 午前10時15分開議 午前11時20分閉議

会議場所

鱈ヶ沢町役場 2階 委員会室

構成員

平田 衛（町長） 阿彦 正弘（教育長） 山崎 康裕（教育長職務代理者）
工藤 道代（教育委員） 尾崎 充美（教育委員）

事務局

加藤 隆之（副町長） 工藤 章彦（総務課長） 長谷川 英士（総務課長代理）
小笠原 忠（参事兼社会教育課長） 櫻井 春樹（学校教育課長）
須藤 久輝（学校教育課学校教育班長）

次第

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 協議事項 鱈ヶ沢町第2次教育大綱(案)について
- 4 意見交換 テーマ：鱈ヶ沢町の教育について
- 5 閉会

配付資料

- ・ 次第 ・ 出席者名簿 ・ 鱈ヶ沢町総合教育会議設置要綱等
- ・ 資料1 鱈ヶ沢町第2次教育大綱(案)
- ・ 資料2 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱

議事録

長谷川課長代理	<p>定刻となりましたので、只今より第2回鱈ヶ沢町総合教育会議を開催いたします。</p> <p>開会に先立ちまして町長より、一言挨拶がございます。</p>
平田町長	挨拶
長谷川課長代理	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは会議に先立ちまして、担当より概要説明、資料の確認があります。</p>
須藤班長	会議概要説明、資料確認
長谷川課長代理	<p>それでは皆様、資料の方はお揃いでしょうか。</p> <p>それでは会議に入りたいと思います。</p> <p>はじめに、会議設置要綱第4条の規定により、町長が会議の議長を務めることになっておりますので、以降の進行は町長にお願いしたいと思います。</p> <p>町長、宜しくお願いいたします。</p>
平田町長	<p>はい。それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>はじめの挨拶でも申し上げましたが、今日の協議事項は、町の第2次教育大綱（案）についての協議であります。</p> <p>これは、今年度から5ヶ年に渡っての鱈ヶ沢町の教育政策についての基本の方針を示したものであります。</p> <p>これに基づいて鱈ヶ沢町の教育を進めていく案でありますので、今日は皆様に積極的なご意見を頂戴したいと思っております。</p> <p>それでは、今回の大綱のおおまかな概要について、教育長から説明をお願いします。</p>
阿彦教育長	<p>それでは大綱（案）をご覧ください。ページを追って説明します。</p> <p>1ページをご覧ください。そこに書いてある内容を、かいつまんでお話しします。</p> <p>そこには少子高齢化、過疎化、人生100年時代、そして超スマート社会など、変化の激しい時代でも、町では、ふるさと鱈ヶ沢を愛し、ふるさと鱈ヶ沢に誇りと自信を持った人材育成を目指し第2次教育大綱を策定するという趣旨のことが書かれています。</p> <p>次に2ページであります。改定の趣旨についてです。地方教育行政の組織及び運営に関する法律により教育大綱を策定しており、町の最上位計画である総合計画と整合性を図っているということが趣旨のところ</p>

	<p>に書いてあります。</p> <p>そしてその下の大綱期間。令和3年度から令和7年度までということであります。</p> <p>次に基本理念。ふるさと鱒ヶ沢を支える人づくりとし、教育施策を通して、町民にまで、町づくりを進めて行こうという気概を表しているという事になります。</p> <p>続いて3ページご覧ください。基本目標です。まず学校教育ですが、子ども達が夢や志を実現できるよう「知・徳・体」をバランスよく育む教育を推進するとしてあります。</p> <p>一方、社会教育では、町民が生きがいを持つことにより住みよい地域社会が出来るよう地域のつながりが強化される環境づくりをするとしてあります。</p> <p>続いて基本方針及び重点施策でございます。これは沢山あるので、細かくはご説明しませんが、まず学校教育ですが、ふるさとに愛着と誇りを持ち、未来を展望する人材の育成というのを基本方針とし、(1)から(8)まで8つの重点施策を策定しております。</p> <p>そして、社会教育です。ここでは、住民一人一人が学びを通して生きがいに満ちた生活を送り、その知識や技術を豊かで住みよい地域社会の形成に生かせる環境づくりというのを基本方針として、そこにある(1)から(5)までの5つを重点施策として策定しております。</p> <p>簡単ではありますが、以上、概略の説明になります。</p>
平田町長	<p>今、教育長から、かいつまんで説明がありました。この大綱(案)について皆様からご意見を頂戴したいと思います。</p>
山崎委員	<p>白八幡宮大祭の関係ですけれども、人口減少及び高齢化社会であり、おきやまになっている山車もあります。</p> <p>そういうのを若い人は作った事がない、お年寄はもう作れない、という風になっているのを感じるの、どうか作った山車を保存して、展示できるというような考えは無いものですか。</p>
平田町長	<p>大綱については、基本的な方針という事でありまして、10ページに文化財保護の推進という事で、基本的な事項について、項目で3つ載せてあります。</p> <p>その中で、白八幡宮大祭についても保存・伝承ということで設けていますので、それを含めまして町として今後検討していきたいと考えています。</p> <p>ちなみに、今年度延期になった白八幡宮大祭は来年度に開催予定ですが、小学校・中学校の児童生徒全員に参加して貰う予定です。</p>

	<p>参加できなくても見学して貰うという事にしていますので、小・中全校生徒が祭りに対して理解を深めていくという事になります。</p> <p>他に、尾崎委員、何かありませんか。</p>
尾崎委員	<p>第1次の大綱からはコンパクトになって、町民の方も解りやすい大綱になっていると感じています。</p> <p>第2次の教育大綱は第6次の町の総合計画を踏まえて定めるという事になっているのですが、第6次の町の総合計画はいつ出て来るのか、整合性が取れないという事は無いと思うが、その辺はしっかりした方がいいのかと思います。</p> <p>前回の計画の評価も踏まえて出来ているとは思いますが、これを実行・実践するにあたって、どういう風に具体的な内容で展開して行くのか、どの時期までにどの段階までの目標達成を目指すのかというのを明らかにして進めて行くことが大事なのでは、というところがあります。</p>
平田町長	<p>まず、総合計画ですが、本来、令和3年度スタートの計画だったのですが、まだ時間が掛かっていまして、まとめるのに苦勞をしているという状況にあります。</p> <p>当然、整合性のとれた計画になりますし、教育の部分に関しては、この教育大綱が基本になって行くことになります。</p> <p>それと、尾崎委員がおっしゃっているのは、いわゆる実施計画の部分になると思いますが、それについて、教育長どのように考えていますか。</p>
阿彦教育長	<p>毎年、教育要覧というものを作りながら、一年ごとに具体的に進めるというのをやっています。</p> <p>5年より短い目標設定、そして具体的スケジュールも必要なのだと改めて感じておりますので、具体的な形として表せるように考えていきたいと思っています。</p>
平田町長	<p>それは、いつ頃になると具体的に表せるようになるのか。</p>
阿彦教育長	<p>教育要覧は毎年作っていますので、それを教育委員へ提示して質問を受けながらと思っていました。</p> <p>評価も踏まえて作成するというのも当然していました。</p> <p>細かく一つ一つ丁寧な評価を吟味して、とはやっていませんでしたが、こういう風に評価しました。というのは示していました。</p>
平田町長	<p>総合計画は実施計画の部分も当然出て来るので、そこも含めて、検討していただきたい。</p> <p>外にご意見はございませんか。</p> <p>では、この大綱（案）もって決定してもよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>

平田町長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、この大綱（案）を大綱として決定したいと思います。</p> <p>次は、意見交換という事になっていますが、その前に尾崎委員から2、3あるということなので、どうぞお話しください。</p>
尾崎委員	<p>ふるさとの愛着とかキャリア教育とかありますけども、この鱒ヶ沢の自然とか第一次産業だけでなく、第二次、第三次産業含めて、小学校中学校を通して、一貫した体系的な指導プランがあればいいのかな、それが、やがてはキャリア教育にも繋がって行くのかなと思っております。</p> <p>それから、2つ目。先生方が児童・生徒の指導に十分に力を注ぐことが出来るように、先生方の働き方、或いは、指導力を向上させていくための研修体制の推進とか図って行ければと思います。</p> <p>前の会議でも、働き方改革とか或いは先般は教員の人数不足とか、高校の倍率が減っているとか、そういったことも考えましたが、先生方の事務的な処理も負担になっている面もあるのではと。</p> <p>これは国とか県も解決する方向に持っていくとは思いますが、先生方の事務的な処理の負担を減らして行けるような事を当町として何か出来ればと思います。</p> <p>それから、保護者の負担軽減を更に可能にするような、具体的に言うと経済的な支援の充実という、もっと具体的な事があるのかなと思ったりもしています。</p> <p>最後もう一つ。小学校でも中学校でも、いろんな行事をやっているのですが、そういった事が、町民に発信できるというのがもう少しあっても良いのではと思います。</p> <p>将来、町が小学校とか中学校とか一貫した教育を充実させて行く事を考えた場合、町民に対しての理解も深まる、そういう情報発信もやれば行ければ助けになると思います。</p>
平田町長	<p>まず、鱒ヶ沢の自然とか資源は様々ありますが、いわゆる、小中一貫した、ふるさと教育の話だと思うのですが、教育委員会ではその辺どうですか。</p>
阿彦教育長	<p>尾崎委員がおっしゃる通り、ふるさと学習・キャリア教育については大事な学習であると我々も十分認識しておりまして、これまで10年近くふるさと学習をやっているのですが、やはり一貫してというのは足りてませんでした。</p> <p>それで、今年度から一年かけて、小学校から中学校へかけて一貫した環境を作ろうという事で、検討会を立上げて教育事務所の指導主事の先生にも来て頂いて、助言を頂きながらカリキュラム作りをして、ほぼ完</p>

	<p>成しました。</p> <p>その中で自然や環境、文化歴史、産業と、もう一つキャリア教育の視点も加えて自分の生き方等、柱を決めて、小学校1年生ではこういう事をやってください、2年生ではこういう事をやりましょう、という事で9年間を通して各学年で勉強する事というのを作り上げました。</p> <p>大事なのはキャリア教育の視点で特に中学校だったら、どういう自分の将来像なのか、具体的に職場体験等を通じて固めて行こうという事で、そのカリキュラムの中に取り込んでいるというのが進んでいます。</p> <p>来年度から具体的に各学校でそれを実施して頂くわけですが、そこでやはり、実施しながらも評価して改善するという、そういう事を繰り返しながら、より良いふるさと学習・キャリア教育を作って行きたいなと思っていました。</p> <p>手本としたいのが隣の秋田県大館市で、やはり昔からキャリア教育とふるさと学習を合体させているというのを、指導主事の先生からもご指導を受けまして、その辺ももう少し勉強しながら町のふるさと学習・キャリア教育というのをしっかり充実させて行きたいなと思っていました。</p>
平田町長	<p>という事ではありますが、何か補足はありますか。</p>
小笠原課長	<p>試行錯誤しながら、今までは学校の先生方と意見を交わす事すら無かったですが、まず話合う場面を持って、これからも協力して行く事によって、検証もしながら進めるという事が出来ると思います。</p> <p>それで最後には、「ふるさと鱒ヶ沢に誇りを持ち」に向かって行くことだと思っております。</p> <p>やはり鱒ヶ沢で学んで欲しいところが、日本遺産もあるし世界遺産もあるしという事から行けば、当然、白八幡宮大祭まで行くのですが、そこも踏まえ、産業もしっかり体系づけて知って貰いたいという事もあります。</p> <p>これについては、まだきちんとしたお披露目までは行けないのですが、それを足掛かりに5本の柱を作っているのですが、そこを進めながらやって行きたいなと思っております。</p>
平田町長	<p>尾崎委員、如何でしょうか。</p> <p>皆様、他にふるさと学習について、ご意見はありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、2つ目の先生方の働き方改革というか負担軽減について教育長からお願いします。</p>
阿彦教育長	<p>働き方改革として初歩的なのですが、4年前学校にタイムカードを設置しました。まずは教員自身が学校に居る時間を把握してもらおうと設</p>

置しました。

最初は教員方にも抵抗がありまして、それで管理するのだらうという事なので、一切報告を求めていませんでしたが、昨年あたりから、実態を把握するために報告してもらい、勤務時間が多い先生がいるので、管理職を通して改善してくださいというのをお話していました。

小学校、中学校で部活動を抱えている教員というのが、一番の負担というのがありました。そこで、小学校の部活動を学校から無くして、町のスポーツ協会の方でジュニアクラブという形で指導して貰う事で先生方の負担が、まず無くなりました。

これに関しては、小学校の先生方からも、大変、楽になりましたと放課後の時間を使って子ども達の授業の為の下調べの時間として使えてありがたいという言葉頂きました。

中学校はこれからなのですが、中学校も部活動が負担になっている先生方が結構いらっしゃるという事で、その改革に手を付けて行きたいなと感じていました。

具体的な部分で言うと、外部指導者をお願いするという制度が、国でも県でもあるので、それを活用して行こうというのと、将来的には小学校と同じ様に、中学校の部活動も社会体育とか町のスポーツ協会と連動しながら行える様になれば、かなり良いものが出来るのではという気がしていました。それこそ、小学校中学校一貫して大人とスポーツが出来るシステムが良いのでは、という考えを持っています。

あとは、学校自体の考え方もあるのですが、様々な行事を精選しながら、常に新しい時代になって様々なものが入ってくる。捨てる物を捨てずに、次々新しいものを入れているので、とにかくオーバーワークになりがちだと。

やはり、時代を見据えて、捨てるものは捨て、所期の目的を達成したと思われるものは、学校自身が身軽にして行かなければならない。そういう事を進めて行きたいと感じていました。

あと、教員の指導力の向上の研修ですが、これは、国や県が教員研修をやってくれていましたが、町独自でも研修を進めて行きたいと感じています。

手本としたいのは、隣の秋田県八峰町です。秋田県は日本有数の学力上位県でもあるし、ICTの先進地でもある八峰町で研修をさせて貰うか、向こうから先生に来て指導して頂くのか考えていたのですが、コロナの関係で、今は足踏み状態であります。

来年度こそコロナが収まれば、是非、指導して貰いたいと思っています。

	<p>した。</p> <p>先般、オンラインで秋田県の教育フォーラムを拝見しました。その中で、この先生は良い発表をしているなど見ていたところ、その先生は八峰町の先生でした。なので、是非この先生に指導して貰えたらいいなと思っていましたので、町の教育委員会主催の研修を進めて参りたいと思っています。</p> <p>以上、2つの件に関しては、そういう流れであります。</p>
平田町長	<p>尾崎委員どうですか。他の皆様、何かご意見ございますか。</p> <p>現在、小学校の部活動はスポーツ協会のほうで、保護者の協力も得て積極的にやっている状況にあります。</p> <p>最後、保護者の負担軽減という事で、おそらく経済的な話だと思いますが、教育長お願いします。</p>
阿彦教育長	<p>鱒ヶ沢町は凄く手厚いと思っていました。</p> <p>一つの例として、準要保護家庭に給食を無料で提供する。児童・生徒の約3割が給食を無料で提供される状況にあります。近隣の市町と比べれば、割合は非常に高いです。</p> <p>簡単に言うと、申請のハードルが低いというか、申請すると割と許可されるというのが鱒ヶ沢町の制度ですので、これはかなり経済的な支援に繋がっているのではと思っています。</p>
平田町長	<p>保護者の負担軽減について皆様他に何かありませんか。</p> <p>無いようですので、4つ目の小中学校の活動を情報発信して町民の皆様の理解向上にという事ですけども、これは、GIGA・コミュニティスクール絡みもあるかと思しますので、社会教育課長からどうぞ。</p>
小笠原課長	<p>小学校中学校の行事も含めて様子をお伝えするという事は、前から課題があり、以前は、紙ベースで「くまげら」というタイトルで年に2回ほど学校の様子をお知らせした時期もありました。</p> <p>しかし、先生方の負担も大きいという事もあり、スタイルを替えて、コミュニティスクールも出来るのであれば、電子の力を借りてという発信にシフトしております。</p> <p>今後の発信についての取組みについては、コミュニティスクールの大きな仕事の1つでもあります。折を見て、広報紙に割込んでというのもやりつつも、独自に鱒コミ通信という毎月1回発行出来るものをホームページで発信するという地味な方法しかありませんでした。</p> <p>これは、見る人から来ないと、なかなか見られないもので、町民もですが、まず保護者へお知らせしなければならぬという事から、まず手始めに、各学校から保護者へ発信しているマチコミメールというのを介</p>

	<p>して鯨コミ通信を広めたいと取り組んでもみました。保護者を中心に広報を広め、それを地域に広げたいと考えております。</p>
阿彦教育長	<p>補足で、ICTを活用するという事で、保護者一人ひとりは大体スマホを持っていますので、学校からの連絡とかは全部スマホへ発信している時代です。そこへ、鯨コミ通信として学校の活動を見て頂こうとしています。</p> <p>ただそれでも町民の皆様へというわけでは無いので、課題はコミュニティスクールとは何なのかというのをもう少し町民の皆様、保護者へ発信して取組み状況を理解して頂き、更に応援して貰うというような活動自体をもっと活発にしなければならないというのが、今の我々の課題であります。</p> <p>そこにこれから力を入れて行きたいというのがあります。</p>
平田町長	<p>という事で、尾崎委員よろしいでしょうか。他の皆様はよろしいでしょうか。</p> <p>他に何かご意見はございませんか。</p> <p>須藤班長、次の意見交換はやるのですか。</p>
須藤班長	<p>はい、町長の思いもお聞かせ頂いて、これからの教育の参考にもしたいと思います。町長の思うところの、人づくり、町づくりをお話していただければと思います。お願いします。</p>
平田町長	<p>今までの私の経験からの話ですが、ただの暗記や計算方法とか、上面だけでは理解が難しい事があるので、実際の理屈を理解し本質を見ることで問題が解ける、というようなものの考え方は大事だと思い、学校では本質の部分に力を入れて教えて頂ければと思います。</p> <p>それと、人との出会いというのが人生を左右すると私は思っています。</p> <p>私の場合は高校時代の陸上部の先生に出会って、そこから自分の人生が変わったような気がしています。</p> <p>やはり「目標を持つ人間は強くなる」と先生はよく言っていますが、やればやるだけ記録は伸びていく。当然、伸びない時期もありましたが、そこをどういう風に努力して我慢して行くかが大事であり、陸上競技を通じて学んだ気がします。</p> <p>大学に進学しても陸上を続け、周りは凄い選手ばかりでしたので、初めはビりに近い記録でしたが、4年間やって、そこでも良い先生に巡り会い、凄い選手に近い位の記録を出せるようになりました。</p> <p>そういう自分の経験から、人生においてもやれば何とか出来るというのを強く感じています。常にポジティブに、悩む事もありますが、常に</p>

前向きにというのは陸上競技を通じて、そうなったと思っています。

私は町長に就任してから、3つの基本目標という事で、その一番目に「誇りと自信が持てる町、自慢できる町」というのを掲げています。

これは、先程から皆様からお話を伺っている、やはりこれからの町をつくって行く子ども達、大人も含めて、鱒ヶ沢町にしっかりと自信を持って欲しい。誇りを持って欲しいという思いからです。これが町づくりを進めて行く上で一番基本中の基本だと思っています。

我々が小さい頃から、例えば、農家は農業がきついと、常に農家さんはそう言い続けてくるので、子ども達は農家はやめたほうがいいのかと違う職業を選択していく。

或いは、鱒ヶ沢町に来た観光客の皆様が「鱒ヶ沢町で美味しいものはありますか」と聞いた時に、地元の方が「無い」「何も無い」というような事では、鱒ヶ沢町は良くなるわけが無いわけです。

最初はとにかく「駄目」から始まりますので、そうではなく、鱒ヶ沢町は素晴らしい所だというのは、我々が気付かない、町民の皆様も気付いていない、そこをもっともっと気付くような、そういう町づくりをしないと。

先ほど、尾崎委員もお話していましたが、ふるさと教育も含めて、これは子どもだけでなく大人もしっかりとこの町にもっと自信を持って欲しいと思います。

私は色々な町と比べても、この町はかなり魅力的な町だと思っています。それをもっともっと、町民にもですが、町外の皆様にも情報発信して行かなければいけない。それを今、町では、タウンプロモーションという形で進めています。

タウンプロモーションというと、単なる宣伝と思われがちですが、そうではなく、鱒ヶ沢町の魅力をどんどん内外に発信する事によって町の魅力を高めて行く、或いは、町の食べ物や景色やいろんな資源を内外に情報発信することで町の発展に寄与して行こうというのがタウンプロモーションという取組みであります。

我々はプライドが高いと言うと、どうしても「いい気になっている」、「鼻が高くなっている」というイメージが強いですが、我々はもっと鱒ヶ沢町の町民だというプライドをしっかり持って行く事、これが原動力となって行くと思います。

鱒ヶ沢町は今まで人づくりには力を入れて来なかったと思います。どうしても箱物中心でずっとやって来た気がします。ある意味、人づくりに力を入れて来なかった影響が出て来ていると思っています。

	<p>やはりこれからは、箱を作っても人は育たないので、人をしっかりつくって行くという事が必要だと私は思っております。</p> <p>先生の負担軽減の話もされていましたが、当時は小学校に行くときよく叱られました。家に帰ってそれを母親に言うと、悪いのは自分だと言われました。</p> <p>うちの母親は学校に行くと、うちの子どもを「もっと叱ってください」とよく言っていました。なかなか今はそういう親御さんがいなくて、叱るなという親御さんが増えているみたいですけど。</p> <p>どうしても総合教育会議という堅苦しくなりがちですが、皆様からいろんな意見を頂戴しながら、これからは町をつくって行く原動力は人ですので、とにかく人を一所懸命育てて行きたいと思っております。</p>
工藤委員	<p>人づくりですが、その人を認めて叱るのと、最初から叱ってから認められようとしても、もう叱られたというのが先に立つとなかなか受け入れられないので。</p> <p>鱈ヶ沢町はよその人に結構冷たいと思います。会議に行って何か意見を言おうとしても真っ先に否定される事が多く、それだと何も言えなくなると思います。</p> <p>やはり柔軟性のある人達がいっぱい増やすためには、子どもの時からいろんな話し合いをして、その個人をそれぞれが認めて尊敬できる人づくりをすると良いと思います。だから外の人との空気も必要だし、認めるのも良いと思っているので、なんとか町長よろしくお願いします。</p> <p>鱈ヶ沢の人はあまり議論しないし議論にならないけど、いろいろな人と話をしてくるとその人を解ってくるので、そういうのは大事かなと思います。</p> <p>町長と副町長は人の話を面白く引き取ってくれるので、そういう人がいっぱい増えれば、怖がらずに冗談も言えるし、本当は冗談の中に本音があったりするので、それをくみ取ってくれると思うので、コミュニケーションは非常に大事だなと思います。</p> <p>私の夫は外から来た人なので、鱈ヶ沢の人は冷たい、自分の意見を出したくても、出せないというのが本音らしいです。</p> <p>そうではなく、いろいろな人が来るので、他のところの良さも入れての鱈ヶ沢にして欲しいなと思います。</p>
平田町長	<p>やはり外の力も必要だと思います。</p> <p>中でいくら頑張っても駄目だと思います。</p> <p>例えば、外の人が鱈ヶ沢は良い所だと言って貰えれば、中の人もそうなのかなと思って行けるので、やはり外の力も借りて行くということ</p>

	<p>続けていきたい。</p> <p>先ほどふるさと教育の話も聞きましたが、そこは徹底して鱒ヶ沢は良いところだと教えていきます。</p> <p>ただ東京に行くのはしょうがない事だと思います。やはり東京を見て来ることで、ものの考え方も変わって来るし、4年間ほど行って見て来た方が良いと思います。</p> <p>良い悪いを見てくればいいわけで、外から鱒ヶ沢を見れば、やはり良く見えるし、親の有り難味も解ってきます。仕送りとかお金を送って貰っているというような経験から、ふるさとも見る訳です。</p> <p>皆様、他にご意見ありませんか。教育委員会からも何かありますか。ないようですので、最後、事務局にお返しします。</p>
長谷川課長代理	<p>それでは、以上をもちまして、第2回総合教育会議を終了いたします。皆様、お疲れ様でした。</p>